

〔No. 7〕 防火、耐火等に関する次の記述のうち、建築基準法上、誤っているものはどれか。

1. 1時間耐火構造の木材の柱の防火被覆は、強化せっこうボードを2枚以上張ったもので、その厚さの合計を46mm以上としなければならない。

2. 延べ面積2,000m²の病院において、床面積100m²以内ごとに防火区画した部分については、排煙設備を設けなくてもよい。

3. 耐火建築物における特定主要構造部である柱は、当該建築物の構造、建築設備及び用途に応じて、屋内において発生が予測される火災による火熱に当該火災が終了するまで耐え、かつ、当該建築物の周囲において発生する通常の火災による火熱に当該火災が終了するまで耐えることが求められる。

4. 延べ面積5,000m²、地上10階建ての既存のホテルにおいて、営業を継続しながら避難施設に関する工事を施工する場合、建築主は、あらかじめ、当該工事の施工中における当該建築物の安全上、防火上又は避難上の措置に関する計画を作成して、特定行政庁に届け出なければならない。